



ロボット支援下手術
「ダヴィンチ」、導入。

病院理念

- 一、私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一、私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一、私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

特集

- 01 2022年 江南厚生病院2大トピックス
- 04 Our Pride 患者図書室
- 05 Information
 - ・乳がんイベント「ピンクリボンDAY」開催決定!!
 - ・保険外併用療養費 金額変更のご案内
 - ・診療日カレンダー

私たちは走り続ける— 2022年 江南厚生病院 2 大トピックス

私たちは更なる高度医療・患者さんに寄り添った医療を目指すため、新たに**2つの取り組み**を始めました。

1つ目は、6月に導入したロボット支援下手術「ダヴィンチ」。そして2つ目は、5月に開設した「入退院支援センター」です。これらを導入した理由や患者さんのメリットなどを大公開します。

江南厚生病院の走り続ける姿をぜひご覧ください！



TOPIC 1

ロボット支援下手術
「ダヴィンチ」導入

TOPIC 2

「入退院支援
センター」開設



ロボット支援下手術 ダヴィンチ

ロボット支援下手術とは、医師が手術用ロボットを操作して行う手術のことです。当院では、世界でシェア率の高い Intuitive Surgical 社の「ダヴィンチ」を導入いたしました。

導入のメリット

— 身体への負担が少ない

従来の開腹手術では、患者さんの身体を大きく切開しなければなりません。しかし、ロボットを介して行う手術では、患者さんの身体に鉗子を挿入するための小さな穴を数箇所切開するのみで済みます。そのため、傷が小さく、出血量が抑えられるため、手術後の回復が早く、身体への負担を軽減することができます。

— 三次元画像で精度の高い手術が可能

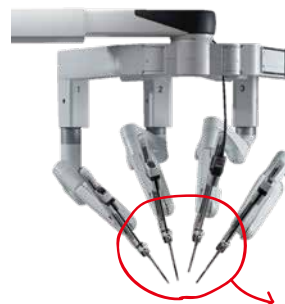
従来の腹腔鏡手術では、医師は二次元の画像を見て手術を行っていましたが、ロボット支援下手術では三次元立体画像を見ながら手術を行います。このため、奥行きを感じながら操作ができるため、より正確かつ安全な手術が可能となります。

— 鉗子の操作精度や自由度が高い

従来の腹腔鏡手術の道具は、まっすぐな鉗子を使っていましたが、ロボット支援下手術では、まるで人の腕のように関節のあるロボットアームが手術を行います。このため、熟練の医師の手のような操作が可能となります。また、ロボットの制御により、手ぶれや不意な作業が制限されるため、安全かつ正確な手術が可能となります。

未来の医療が、
ここに
ある。

ダヴィンチ手術を
のぞいてみよう!



手は4本

手の先には手術器具と内視鏡カメラを装備



おなかに小さな穴を空け挿入



内視鏡カメラの映像を見ながら医師は手と足を使ってダヴィンチを操作



ダヴィンチ操作の資格を取得した医師が手術を行うのでご安心ください

ダヴィンチ適応症例

外科

胃・結腸・直腸

泌尿器科

前立腺・腎臓・膀胱

産婦人科

子宮

疑問を解決! Q&A

Q. ロボット支援下手術は誰でも受けられるのですか?

A. ロボット支援下手術はどのような症例でも受けられる訳ではありません。患者さんの病状や既往歴などをふまえ、主治医が判断いたします。まずは主治医にご相談ください。

Q. 他病院で受診中ですが、江南厚生病院でロボット支援下手術を受けたい場合はどうすればよいですか?

A. かかりつけ医にロボット支援下手術希望の旨を伝え、紹介状を作成してもらってください。当院の主治医が患者さんの病状や既往歴などをふまえて実施できるかを判断いたします。

Q. 費用はどれぐらいかかるのですか?

A. 当院では、原則保険適用となっている手術のみを行っていますので、通常の腹腔鏡手術とあまり変わりはありません。ただし、手術術式によっては、自費診療扱いとなることがありますので、手術が決まり次第、お問い合わせください。なお、自費診療となった場合でも、保険適用に準じた患者負担額としていますので、ご安心ください。

スペシャリスト達が安心をつくる。

入退院支援センターには多職種のスタッフが配置されています。「1人の患者さんの入院をみんなで支える」、そうすることで患者さんの不安を少しでも軽減でき、また私たちも患者さんの詳しい情報を得ることで、適切な医療を提供することができます。



入退院支援センターで行うこと

対象患者：
整形外科（脊椎・人工股関節）
外科（鼠径ヘルニア）
産婦人科（子宮筋腫）

患者さんの生活状況等の情報を確認し、入院・手術に必要な検査を予約したり、服用しているお薬、栄養状態の確認など入院までを支援します。

入院前

術前の検査、お薬の確認、麻酔説明、歯科口腔外科受診、栄養状態の確認、リハビリの評価、主治医および看護師からの説明のため、入院前に3回程度のご来院が必要です。

入院後

入退院支援センターで得た情報を、入院する病棟と事前に共有します。患者さんが安心して入院生活を送ることができるよう環境を整えていきます。



写真上／入退院支援センター受付。正面玄関から近くわかりやすい場所にあります。
写真下／同センター内。ブースが分かれており、患者さんの情報が聞こえない配慮をしています。

スペシャリストのご紹介

リハビリ療法士

手術前の運動機能について、リハビリ療法士による評価や呼吸訓練を行います。

薬剤師

主治医と情報共有し、手術に影響するお薬は適切に対処します。手術を安全に受けていただくために、健康食品やサプリメントは原則中止となります。

麻酔科医

一般的な麻酔の流れの動画を見ていただき、その後患者さんの手術に合わせた注意点等を説明します。

相談員

医療福祉・在宅支援・費用のことなどでお困りのことがあれば、私たちがサポートします。

看護師

入退院支援センターの総括。患者さんの入院までの状況を総合的に支援しています。

医療事務員

入院までの検査・診察のスケジュールを、患者さんのご都合に合わせて決めていきます。

管理栄養士

全身麻酔手術を行うと栄養状態に影響が出ることがあります。入院前から栄養状態を把握し、手術後の栄養管理に役立ちます。

歯科口腔外科

全身麻酔手術時に口腔内にトラブルがあると様々な合併症を引き起こすリスクが高まります。手術前に歯科口腔外科にて口腔内の状況を確認します。



入退院支援センター

患者図書室のお仕事とは？

本の貸し出しや管理のみならず、病院の図書室ということで、「病氣と闘う患者さんの心を癒す場所をつくりたい」という気持ちから、季節にあわせた図書室の飾り付けにも力を注いでいます。

Our pride
私たちのプライド

嬉しかったエピソードは？

患者図書室を利用してくれた患者さんが、退院後の外来受診時に立ち寄ってくださったり、ご自身で作られた飾り物を贈ってくださったり。温かい気持ちになりますね。

ここを知ってほしい！

図書室の飾り付けは約2か月前から準備をします。広報誌が発行されるときはクリスマスの準備中です。また、こども病棟で開かれるクリスマス会で配るプレゼント製作も恒例となっています。

私のプライド！！

ここは病院の中でも数少ない病気を忘れることができる場所。よくご自身の身の上話を聞かせてくれます。それができるこの空気感が患者さんにとって癒しなのかなと思います。患者さんの笑顔を見ることが私の誇りに繋がります。

心が癒される
場所をつくりたい

患者図書室



患者図書室利用方法

入院患者さん



STEP 1 患者図書室で本を選ぶ(5冊まで)	STEP 2 申込書に記入	STEP 3 読書をお楽しみください♪(3日間)	STEP 4 患者図書室へご返却(返却は24時間OK)
----------------------------	------------------	-----------------------------	--------------------------------

デリバリー 対象病棟：4階東、5階東、5階西、6階西のみ

STEP 1 対象病棟受付に図書リストと申込書があるので記入し、同所にある回収ボックスに投函	STEP 2 図書係が病室へ伺い本をお届け!	STEP 3 読書をお楽しみください♪(3日間)	STEP 4 図書係が病室へ伺いご返却!
---	---------------------------	-----------------------------	-------------------------

※お届け・返却は平日のみ対応

15時までの投函で翌日にお届けとなります。(土日祝は除く)

外来患者さん

当日1冊のみ貸出し可能。待ち時間の合間に患者図書室をご利用いただくのもおすすめです。

こんな本
あります。

小説や趣味の本も!

最近漫画も
増えています

児童書も
たくさん



概要&MAP

利用時間
平日8:30~17:00
貸出は16:30まで
返却は24時間可能



乳がんイベント「ピンクリボンDAY」開催決定!!

2022年
10/13(木)
10:00~
15:00

event

毎年定期開催している乳がんイベント。今年は「ピンクリボンDAY～あなたと大切な人のために知っておこう乳がんのこと～」と名称を新たに、内容もバージョンアップします！お気軽にご来場ください!!

※新型コロナウイルスの感染状況によって、イベントを中止する場合があります。

展示 & 相談会

予約不要

10:00～13:30

- がん予防、がん検診のススメ
- ケア用品展示（下着・人工乳房・ウィッグ等の展示）
- 個別相談会（リンパ浮腫・乳がん患者会 マミーズダイニングとの相談）

体験会

定員：各回20名

予約優先

1回目：11:40～12:00
2回目：13:00～13:20

がんサーケアヨガ ～気軽にヨガ体験～

がんサーケアヨガ講師と一緒に椅子に座りながらヨガを行います。安心してご参加ください。

お知らせ

イベントの詳細な内容や、開催の中止のお知らせは当院ホームページにて確認ができます。



江南厚生病院
ホームページ

講演会

14:00～15:00（開場は13:45）

定員：50名

予約優先

第一部

患者・家族への
乳腺外科医からのメッセージ

乳腺・内分泌外科
飛永 純一 医師



第二部

男性も乳がんになる

スペシャルゲストの野口さんに、ご自身の乳がん体験談をお話いただけます。

フリーアナウンサー・フリーライター
野口 晃一郎 氏



Special Guest

お問い合わせ & ご予約

がん相談支援センター
0587-51-3346（直通）
平日9:00～17:00のみ

保険外併用療養費 金額変更のご案内

ご案内

2022年
10/1より

令和4年4月の診療報酬改定に伴い、次のとおり金額を変更いたします。

	対象者	変更点	
		2022年9月30日まで【前】	2022年10月1日より【後】
初診時 保険外併用 療養費	他の医療機関からの診療情報提供書（紹介状）を持たずに受診した場合	5,500円	7,700円（税込み）

< ご負担の対象にならない方 >

- 救急搬送等の救急患者
- 防災、公務災害、交通事故、予防接種、自費診療の方
- 特定健康診査、がん検診等の結果により精密検査受診の指示を受けた方
- 災害により被害を受けた方
- 特定の障害、特定の疾病などにより各種公費負担制度の受給者（※こども医療・母子医療を除く）
- 国の公費負担医療制度の受給対象の方
- 外来受診からそのまま入院となった方

2022年（令和4年）診療日カレンダー

● 休診日（土曜・日曜は休診です）

10月							11月							12月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1			1	2	3	4	5					1	2	3
2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
23	24	25	26	27	28	29	27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31
30	31																			